

平成 25 年 6 月 19 日
公益財団法人日本スケート連盟

2013-2014 シーズン フィギュアスケート国際競技会派遣選手選考基準

国際大会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部会が推薦し、フィギュア委員会で承認し、さらに理事会もしくは選考委員会で承認することによって決定する。

1. ジュニア・グランプリ・シリーズ選考方法

6 月に派遣選手選考会を開催して決定する。

2 戦目は原則として、ファイナルに残る可能性のあるジュニアグランプリ 1 試合目の順位 4 位以内の者を上位から選考する

2. 世界ジュニア選手権大会選考方法 (男女シングル共に 2 枠)

男女シングル選考

全日本選手権終了時に、以下の基準で選考する。

- ① 1 人目は全日本ジュニア選手権優勝者を選考し、フィギュア委員会へ推薦する。
- ② 2 人目は以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して強化部会で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。

- ・ 全日本ジュニア選手権 3 位以内の選手
- ・ ジュニア・グランプリ・ファイナルの日本人上位 3 名 (参加が 3 名未満の場合はジュニア・グランプリ・シリーズのランキング上位 3 名)
- ・ 全日本選手権参加者のうちジュニア年齢で派遣希望のある上位 3 名
- ・ 全日本終了時点でのワールド・スタンディングのうちジュニア年齢で派遣希望のある上位 3 名
- ・ **最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。**
- ・ 最終選考会である全日本選手権までに ISU が定める当該年度の世界ジュニア選手権出場のためのミニマムポイントを獲得できていない場合は選考対象から除外する。
- ・ 候補選手となるには、当該年度のジュニアのショートプログラム課題で、十分な得点を獲得出来る実力を当該シーズンのいずれかの競技会で示していることが必要である。

※なお 2013 ユニバーシアードの成績は、考慮しない。

ペア、アイスダンスについては、上記によらず、国際的な競技力を考慮して決定する。

3. オリンピック代表選手選考方法

(男女シングル共に3枠、ペア、アイスダンスは予選結果により最大1枠)

男女シングル選考

全日本選手権終了時に、オリンピック参加有資格者の中から、以下の選考方法で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。

- ① 1人目は全日本選手権優勝者を選考する。
- ② 2人目は、全日本2位、3位の選手とグランプリ・ファイナルの日本人表彰台最上位者の中から選考を行う。
- ③ 3人目は、②の選考から漏れた選手と、全日本選手権終了時点でのワールド・ランキング日本人上位3名、ISUシーズンベストスコアの日本人上位3名選手の中から選考を行う。

ペア、アイスダンス選考

全日本優勝者と全日本選手権終了時点でのワールド・ランキング日本人最上位組、全日本選手権終了時点でのISUシーズンベストスコアの日本人最上位組の中から選考を行う。

※オリンピック参加有資格者とは

- ・オリンピックに参加できる年齢を満たしているもの
- ・全日本選手権時までにISUが定める当該年度のオリンピック出場のためのミニマムポイントを獲得しているもの。
- ・最終選考会である全日本選手権に参加しているもの

4. オリンピック団体戦選手選考方法

男女シングル選考

オリンピック代表選手として選考されたシングル選手の中から、オリンピック団体戦のショートプログラム滑走者とフリースケーティング滑走者を、以下の基準に沿って選考する。

- ・オリンピック団体戦 ショートプログラム滑走者
全日本選手権終了時点のISUシーズンベストスコア・ショートプログラム最上位者
- ・オリンピック団体戦 フリースケーティング滑走者
全日本選手権終了時点のISUシーズンベストスコア・フリースケーティング最上位者

但し、ISUシーズンベストスコア・ショートプログラム最上位者と、ISUシーズンベストスコア・フリースケーティング最上位者が同一選手だった場合は、フリースケーティング滑走者はISUシーズンベストスコア・フリースケーティング次点の選手とする。

ペア、アイスダンス選考

個人競技の代表がそのまま選考される。

5. 世界選手権大会代表選手選考方法（男女シングル3枠、ペア、アイスダンス各1枠）

男女シングル選考

全日本選手権終了時に、以下の選考方法で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。

- ① 1人目は全日本選手権優勝者を選考する。
- ② 2人目は、全日本2位、3位の選手とグランプリ・ファイナルの日本人表彰台最上位者の中から選考を行う。
- ③ 3人目は、②の選考から漏れた選手と全日本4位～6位の選手、全日本選手権終了時点でのワールド・ランキング日本人上位3名、ISUシーズンベストスコアの日本人上位3名選手の中から選考を行う。

・尚、過去に世界選手権3位以内に入賞した実績のある選手が、シーズン前半にけが等で上記の選考対象に含まれなかった場合には、世界選手権時の状態を見通しつつ、選考の対象に加えることがある。

ペア、アイスダンス選考

全日本優勝者と全日本選手権終了時点でのワールド・ランキング日本人最上位組、全日本選手権終了時点でのISUシーズンベストスコアの日本人最上位組の中から選考を行う。

6. 四大陸選手権大会選考方法

全日本選手権終了時に、以下の基準のいずれかを満たす者から総合的に判断して強化部で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。尚、選手の参加希望を事前にアンケートで確認し、ソチ・オリンピックの参加者の調整を最優先する。

- ① シニア・グランプリ・シリーズのランキング上位6名
- ② 全日本選手権10位以内
- ③ 全日本終了時点でのワールド・スタンディング上位6名
- ④ 全日本選手権終了時点のISUシーズンベストスコア日本人上位6名(組)

- ・最終選考会である全日本選手権への参加は必須である。
- ・最終選考会である全日本選手権までにISUが定める当該年度の四大陸選手権出場のためのミニマムポイントを獲得できていない場合は選考対象から除外する。
- ・尚、過去に世界選手権6位以内に入賞した実績のある選手が、シーズン前半にけが等で上記の選考対象に含まれなかった場合には、四大陸選手権時の状態を見通しつつ、選考の対象に加えることがある。

7. ユニバーシアード選考方法（男女共に2枠、アイスダンス1枠）

シングルに関しては7月末、アイスダンスは6月中旬に派遣選手選考会を開催して強化部で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。

8. その他の国際競技会派遣

ノービス国際競技会については、全日本ノービスの上位選手を選考対象とする。有望新人発掘合宿で選考する場合もある。ジュニア・シニア国際競技会については、事前に参加不可能な競技会を調査した上で、強化方針に従って、派遣先を強化部で決定し、フィギュア委員会へ推薦する。これらの国際競技会に派遣する場合にはブロック選手権は免除対象として考えるが、東西選手権の免除対象とはしない。

ペア、アイスダンス及びシンクロについては、上記によらず、国際的な競技力を考慮して決定する。

以上